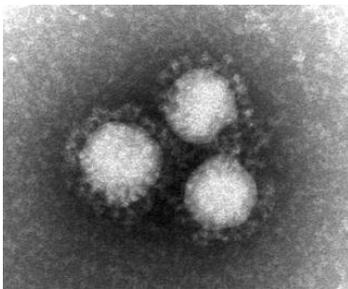




# Knowledge dispels fear

## 知識は恐れを払拭する

### ～新型コロナウイルス感染症～



本号では新型コロナウイルスについて取り上げさせていただきます。2019年末頃より「新型コロナウイルス」が出現し、武漢市を中心に湖北省から中国全土にとどまらず、日本を含めた世界各国で感染発症者が認められています。患者発生数は中国の発表によると、2020年2月2日現在中国国内では14,423人と連日数千人規模で増え続けており、死亡者数も304人となっています。単純計算すると致死率は2.1%となります(ちなみに先進国における麻疹の致死率は0.2%、インフルエンザは0.1%弱とされています)。致死率2.1%の未知の感染症が中国を起点に世界中に広がり、やがて日本も飲み込まれるとしたら、一般の方々のみならず、最前線に立たないといけぬ医療従事者も怖いと思います。書いている私だって怖いです。その上にメディアは多くの方が怖いと思う情報を何度も何度も強調して報道しますので、怖さが増幅されてしまいます。

「Knowledge dispels fear(知識は恐れを払拭する)」です。恐れを最小限のものとするために、現在新型コロナウイルス感染症について、明らかとなってきたことについて記載します。まずウイルスの感染経路は**飛沫感染と接触感染**です。**最も重要な対策は咳エチケットと手指衛生の徹底**です。原則として空気感染(飛沫核感染)はないので、メディアが喜んで撮影したがる陰圧室は重要ではありません。SARSでは、当初医療従事者への感染が問題となりましたが、マスクの着用が感染発病を抑える結果となったとの論文が香港やシンガポールから出ています。

次に臨床情報です。潜伏期間は3~6日と書かれている文献と、平均5.4日と書かれているものがありました。主な症状は発熱と咳、倦怠感などです。SARSやMERSでは下痢症状の頻度も少なくありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症では3%程度と今のところ少ないとされています。SARS、MERSと同様に、成人層での発病、高齢者での重症化と死亡が目立ちます。一方で、まだ詳細なデータはありませんが、小児では感染例であっても症状が殆どなく経過するのではと予想されます。

最後に、致死率について考察します。2月1日現在では致死率は、中国全土では2.19%、武漢市5.97%、湖北省(武漢以外)1.45%、湖北省以外の中国全土0.22%となっています。なぜこんなにも致死率に差があるのでしょうか?図を御覧ください。報道等でも明らかとなっていますが、武漢市とその周辺の地域では殺到する患者に追われて医療体制が破綻してしまっているといっても寡言ではなく、現時点では重症例のみを診断し、治療を行っていると考えられることから、非常に致死率が高くなってしまっているということが言えます。死亡者数はどのような状況であっても、正確性がある程度期待できますから、死亡者数から逆算した湖北省の実際の患者数は、10万人を超えていると推定されます。いずれにせよ、私自身は中国の他地域よりもまだもう少し致死率は低いのではと思っていますが、正確な情報を見極め、分析し、必要以上に怖がらないこと、また今後日本国内で流行した際に、自分自身を守り、患者さんを守るために最善の方法は何であるのかについて、理解しておくことが大切であると思われます。もちろんまだまだ不明な点が多いですが、「Knowledge dispels fear(知識は恐れを払拭する)」です。

**中華人民共和国湖北省において新型コロナウイルス肺炎が発生!**  
中国湖北省発生新型コロナウイルス肺炎!

Novel coronavirus pneumonia has occurred in Hubei Province of China!

湖北省から帰国された方で「咳」や「37.5℃以上の発熱」等の症状がある場合には、病院職員にお申し出ください。

如果您从湖北省返回入境并出现咳嗽或发烧等症状,请主动跟医务人员申报

If you come from Hubei Province with symptoms such as cough or fever, please contact the medical staff.

大阪府済生会中津病院

院内掲示ポスター

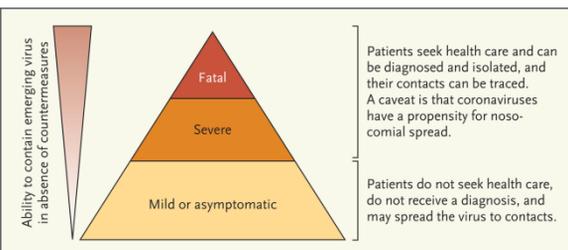


図. 新しい道の感染症は流行した場合、当初は重症例と死亡例のみのサーベイランスとなって、致死率が実際よりも高くなることを示している。医療体制が整い、多くの発症者が診断・治療を受けることができるようになれば、患者数は増加し(真の値に近付き)、致死率は低下していく(A Novel Coronavirus Emerging in China—Key Questions for Impact Assessment; The New England Journal of Medicine, January 25, 2020. より引用)

新型コロナウイルス感染症関連の最新情報や院内対応フロー更新時はサイボウズ内の掲示板にてご案内しますので、出勤時には確認をお願い致します。